



ズームアップかに

zoom up

特別版

明智光秀ゆかりの地巡る

11月28日、ノルディックウォーキングで明智光秀ゆかりの地を巡る講座が開かれ、市民ら約50人が参加しました。明智光秀は2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公で、可児市が生誕の地とされます。今回は市民の健康づくりと、光秀生誕の地を知ってもらおうと企画されました。

広見東地区センターを発着点に、産湯の井戸跡、明智城跡などを巡りました。全長約3キロのコースを歩き、それぞれの場所で市文化財課職員の解説を聞き、参加した人たちは歴史ロマンに思いをはせました。参加者からは「地元光秀のゆかりの地があることを知り身近な人物だと感じました」「明智城跡は展望台からきれいな景色を楽しめ、すてきな場所だなと思いました。ドラマも楽しみにしています」と話していました。



明智城跡の石碑の前で解説を聞く参加者たち



健康により効果的なノルディックウォーキング

産湯の井戸跡

現在、井戸らしきものは残っていませんが、昭和40年代の土地改良以前には、その痕跡があったとされます。光秀が産湯を使ったという伝承があります。



明智城跡

光秀の生誕地といわれる山城です。康永元年(1342)年の築城から約200年間にわたり、明智一族の居城であったといわれます。『美濃国諸旧記』によれば、弘治2年(1556)に斎藤義龍に攻められ、落城したとされます。



天龍寺

明智一族の菩提寺として、毎年地元有志により供養祭が行われています。日本一大きいとされる、高さ184cmの光秀の位牌がまつられています。

